

議会だより

平成30年 2 月

No.97

題字は、館保育所 くま組の齊藤詩穂さんです。

あさぶ



1月14日(日) 第22回新春鹿子舞交流会



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あさぶメイクイン」を守ろう!～



地域づくり総合交付金など

一般会計総額 40億2025万4千円

第4回定例会が12月13日招集され、補正予算等11件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1646万5千円を追加し、総額40億2025万4千円となりました。
事務事業確定と今後の所要見込額を勘案し、各項目の増減調整が図られています。
追加補正された主なものは次のとおりです。

● 公共施設整備基金積立金
(3000万円)

● ウェルカムファミリーの
まち形成事業委託料
(141万5千円)

● 社会保障・税番号制度シス
テム整備委託料(住民記録
システム分)
(165万3千円)

● 介護保険事業特別会計繰出
金(保険事業勘定)
(254万円)

● 地域づくり総合交付金
農作業受託組織機能強化整
備事業費分
(550万円)

● 後継就農奨励金
(100万円)

● 鳥獣被害対策実施隊員日額
報酬 (97万円)

● 熊等駆除捕獲報償費
(50万円)

● 長期借入金償還元金
(235万4千円)

質疑応答 (要旨のみ)

問 江差町ほか2町学校給食
組合過年度精算返還金につい
て

答 29年7月に組合を脱退
し、負担金を精算した返還金
です。

問 道南ドクターヘリ運航費負担金の減額について

答 国からの運航経費等の補助金が増額になり、その結果、負担金が減額になりました。

問 GPS基地局について

答 設置箇所は、役場庁舎の屋上、館城跡公園に隣接する町有地、農業活性化センターの屋上であり、この3か所の基地局で町内全域をカバーします。

問 熊等駆除捕獲報償費等について

答 鳥獣被害対策実施隊33名中24名が活動しており、報償費は当初予算でヒグマ18頭分、エゾシカ30頭分計上していました。現状でヒグマが21頭、エゾシカが32頭捕獲されており、今後も捕獲数が増えることが予想されることから増額補正しました。

問 農業振興公社の無人ヘリコプターの購入について

答 現在運航している2台の

うち1台の運航時間が500時間に達し、継続して運航するためには整備点検・部品交換等で多額の費用負担が必要となります。この度、北海道から500万円の地域づくり交付金事業の内示を受けたため、新たに導入することになりました。



GPS ガイダンス・自動操舵システム装着トラクター実演会

国保会計

北海道国保団体連合会負担

各会計補正予算額一覧表

会計名	区分	補正額	補正後の額
一般会計		1646万5千円	40億2025万4千円
国民健康保険事業特別会計		172万円	7億1760万3千円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	494万9千円	6億2936万9千円
	介護サービス事業勘定	28万4千円	155万4千円
簡易水道事業特別会計		192万5千円	1億7721万4千円
農業集落排水事業特別会計		174万5千円	2億8421万4千円

介護保険会計

保険事業勘定は介護保険システム改修委託料など494万9千円を追加し、総額6億2936万9千円に、介護サービス事業勘定は28万4千円を追加し、総額155万4千円となりました。

金など172万円を追加し、総額7億1760万3千円となりました。

農業集落排水会計

排水管延長工事費など174万5千円を追加し、総額2億8421万4千円となりました。

簡易水道会計

消費税など192万5千円を追加し、総額1億7721万4千円となりました。

質疑応答 (要旨のみ)

問 排水管延長工事費について

答 工事箇所は厚沢部中学校付近の住宅3軒分です。

条例

●厚沢部町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

●特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

人事

●監査委員に進藤貞夫氏を再任

任期満了に伴う監査委員の選任について、進藤貞夫氏(共和)を再任することに同意しました。

議員派遣

●函館厚沢部会総会

目的 意見交換、交流

場所 函館市

期日 2月3日

派遣議員 中山 俊勝

松村 松雄

只野 勲

●東京厚沢部会総会

目的 意見交換、交流

場所 東京都

期日 3月18日

派遣議員 山崎 孝

高田 一弥

下川部 洋伸

意見書を提出しました

第4回定例会で意見書1件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。

(内容省略)

●道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出先 北海道教育委員会教育長、北海道知事、北海道議会議長

一般質問

～聞いてみたい、こんなこと～

質問 1

厚沢部町地方創生総合戦略の
検証・評価と展望について

山崎 孝 議員

社会情勢や財政状況を見極め
各施策を迅速に進めたい

渋田 町長



山崎議員

問

平成27年度から31年度までの5年間で計画期間として、地方創生総合戦略を策定しました。4つの基本目標、基本方向も示されており、各施策についての検証・評価を踏まえ、今後の取り組み・展望について、町長はどのように考えていますか。

答

平成27年に「まち、ひと、しごと創生総合戦略」を策定しました。それぞれ4つの基本目標があり、①「安定した雇用と産業を創出する」では、

新規就農者への支援や農産物新規ブランド化に向けた販売支援、②「厚沢部町への新しい人の流れをつくる」では、移住体験住宅の整備や大学のアウトキャンパス事業の実施、③「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」では、不妊治療への助成、学校給食費及び医療費助成の実施、④「時代に合った厚沢部町をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域連携を図る」では、多世代交流できる環境整備として、上里ふれあいセンター整備や檜山管内7町による東京大田区との連携事業を実施しております。今後も、社会情勢や財政状況を見極めながら、スピード感をもって具体的な施策を進めていきたいと考えています。

質問 2

人口減少問題についての認識と町の体制・対策について

問

急速に進行している人口減少問題をどう認識し、対応・対策を講じていくのか町長はどのように考えていますか。

限りある財源を有効活用し各施策に取り組む

答

人口減少問題は、町の将来を左右する重要課題であり、この流れを食い止めることは容易ではありません。子育て、教育、定住、雇用の創出等、一般にわたっての対策が今後の課題となることと捉えております。また、町の財政に影響を与えることも確実であり、限りある財源の有効活用で施策の取組みを進めていきたいと考えております。

質問 3

新生中学校の再編への
のグランドデザイン
と生徒指導について

問

平成30年度から新たに3校が統合し、新生「厚沢部中学校」としてスタートしますが、生徒の友人関係、学力、生活面等の対応が懸念されます。新生中学校の再編へのグランドデザイン、生徒指導について教育長の考え方を伺います。

答

新生中学校のグランドデザイン、いわゆる全体構想については、最終的には新しい中学校長が作成することになります。懸念のとおり統合後の中学校を円滑にスタートさせるためには、3校間の事前交流活動を進めた上で学校長へ引継いでいくことが重要であると考えております。そのため昨年7月に統合中学校開校準備委員会を設立し、教育課程や生徒指導等の各部会に分かれ、細部にわたって協議を積み重ねてきたところです。厚沢部町の学校教育の節目が、児童・生徒の明るい未来へと繋がる、より一層充実したものとなるよう、教育委員会としましても関係の皆様としっかり連携し進めてまいりたいと考えております。

児童生徒の未来へと
繋がるよう関係の皆様
と連携し進める
(鈴木教育長)

質問 1

素敵な過疎づくり株式会社
今後について
道の駅の運営も任せ、さらなる
飛躍を

中山俊勝議員

渋田町長

問

世界一素敵な過疎の町を目指す本町の拠点として、大きな役割を果たしています。今後は、道の駅の運営にも携わることですが、運営について次の3点について町長の考え方を教えてほしいと思います。

① 現行の業務は、今後も続けていく方針ですか。
② 職員体制は現行のままで続けるのですか。
③ 道の駅での具体的業務内容はどのようなものですか。

答

① 現在の業務は、移住ちよつと暮らしの情報発信、大学アウトキャンパススタディ事業等の移住交流事業等が中心となっています。近年、農産物品等の販売に力を注ぎ、売上げは、昨年度と比べ大きく伸びております。いずれの事業もキラリと光る町づくりに、重要な事業であり、今後とも



中山議員

継続したいと考えております。
② 現行の職員体制は、地域おこし協力隊を含めた5名であり、体制を維持しながら現在の観光協会の職員を取込む形で継続したいと考えております。

③ 観光協会が管理運営している物産センターでの販売に携わる予定です。業務量増加に対応する方法として、両者の持つスキルやノウハウを効率的に活用しながら、さらなる飛躍を目指して運営にあたらせたいと考えております。

再質問

問

今年リニューアルした、ちよつと暮らし住宅の活用方法を教えて下さい。

答

これまで利用してきた4戸のちよつと暮らし住宅については、建設後七年間が経過し、事業導入時の決まりにより、建設した会社が所有することとなります。ただし今年取得した、ちよつと暮らし住宅が満員の時には、使用していいという了解を得ております。

質問 2

認知症対策について

問

急速に進む高齢化の中、認知症の具体的な対策について、町長はどのように考えていますか。

認知症となっても
安心してくらせる
対策を

答

厚沢部町の対策としては、平成30年度から認知症初期集中支援チームを設置します。また、認知症地域支援推進員を置き地域の認知症対策の調整や身近なところに介護者や本人が集まれる認知症カフェの実施に向けて活動しています。今後は地域の協力体制を構築し互いに助け合いながら、厚沢部町は認知症となっても安心して暮らせる町と考えるよう対策をしっかりと進めていきたいと考えております。

質問 1

減反廃止に伴う本町農業の振興方策について

佐々木宏議員

国の支援制度を活用しながら高収益作物の導入を図りたい

渋田町長



佐々木議員

問 ①収入保険加入要件を満たしている農家戸数は。
②減反廃止に伴う町独自の考えは。

③強い経営農家の育成の考えは。
④農業生産工程（GAP）への取り組みは。

答 ①青色申告農業者の約120名が加入できます。今後加入する農業者は、平成30年3月15日までに、江差税務署に青色申告承認申請書を提出すると、平成32年からの加入対象者となります。
②国が策定する受給見直しな

どを踏まえ、生産者や団体が、

需要に応じた生産量を確認す

ることが重要であると考えま

す。北海道の取組みとしては、

平成30年産から自主的取組参

考値として、生産量の目安を

各団体機関が一体となって策

定し、生産者ごとの目安を示

すことが基本となります。

③TTP協定が11ヶ国の参加

によって再協議が進められて

います。また、日欧EPAも

大筋合意され、農業貿易の自

由化の波はとどまる所をみせ

問

質問 2 テレワーク活用による企業誘致の進め方について

通信環境が飛躍的に進展

し、「どこでも」仕事ができ

る環境が整い、企業は場所に

とらわれない働き方やオフィ

ス改革の模索を進めていま

す。新たな雇用の創出の観点

から、積極的な企業誘致の取

組みについて町長の見解を伺

います。

光ケーブルが整備され、アクセス条件が合えば企業誘致も可能

答

政府は、働き方改革が日本経済再生に向けての最大の

チャレンジであるとして、一人ひとりの意思や能力、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を選択するとしています。

しかし、このテレワーク

には労働者と企業の双方にメリットとデメリットが存在します。

現在のところ、企業のテレワーク導入率は低い状態

ですが、デメリットの解決策が整えば導入率も向上すると思われ

ます。企業や労働者などの地域での就労を望むのが問題であると考えます。



総務文教・産業厚生各常任委員会で行った所管事務調査の内容をお知らせします。

○総務文教常任委員会

第2回調査日 8月30日

1 小学校の英語教育について

小学校の外国語指導助手（ALT）の英語教育について、厚沢部小学校の授業を視察し資料により説明を受けました。平成29年度では、町内各中学校でそれぞれ30回程度、小学校でそれぞれ10回から20

回程度、保育所ではそれぞれ2回程度ALTを派遣し英語授業等を実施している。将来的には、平成32年度から英語が5、6年生の必修科目となることから幼少期から英語に触れることが大切であり、異なった言語を通じて楽しさを実感することは、教育にとって非常に大切なこととなる。

2 教職員住宅の現状と今後の取組みについて

教職員住宅の現状と今後の取組みについて、赤沼町地区で空いている教職員住宅の現地確認を実施し、資料説明を受けた。古い住宅では昭和40年代から50年代に建設された住宅が多く、統廃合された地区にも多くの教職員住宅が存在している。今後の方針としては、校区外の古い住宅については、取壊しや売買により処分を進め、校区内の老朽化が著しい住宅については、住宅需要の数を把握し、計画的

に立替えを進めることが望ましい。

3 ふるさと納税の現況と今後の取組みについて

ふるさと納税の現況と今後の取組みについて、資料により説明を受けた。納税額については、厚沢部町は全道でも下位であり、檜山管内においては最下位という状況である。実質小額な負担で豪華な返礼品がもらえるということもあつて、道内においても約数十億円の寄附を集めた自治体もあり、寄附を原資として、手厚い子育て支援対策事業を実施している町もある。全国的にみても厚沢部町の認知度は低く、現状でのホームページを活用したPRのみでは、寄附額のアップは困難であると考えられるため、早急に民間の関連サイトを活用した取組みを実施すべきと考える。

○産業厚生常任委員会

第2回調査日 10月16日

1 認知症対策について

認知症対策について資料説明を受けた。現在、町内の要介護認定者のうち約7割以上

が認知症であるとされており、今後、高齢化による認知症高齢者の増加が見込まれる。町では早期に認知症の診断を行い、速やかに適切な医療・介護等が受けられる初期の対応体制を構築するため、サポート医・チーム員の3名から構成される認知症初期集中支援チームを設置し、来年度からの活動を目指して整備が進められている。しかし、少人数で全ての認知症予備軍に対応することは非常に困難であるため、認知症初期集中支援チームの他に、支えあい協議体等の地域ごとの組織を立ち上げ、地域一丸となつて認知症の方やその家族を支えあう取組が進められている。

2 町内危険地域の指定について

町内危険地域の指定について資料説明を受け、現地調査を行った。町内には急傾斜地崩壊危険箇所が12か所、土石流危険渓流が14か所と、多数の危険地域が存在しているが、早急な対応が困難な状況にある。調査済の危険地域については説明会を開催する計画ではあるが、それだけではな

く、関係町内会と連携して、より多くの町民へ危険地域の所在地及び災害時の避難等について周知徹底を図るべきである。また、各関係機関に対して、早期のハード対策を講じるよう強く要望する必要があると考える。

3 生活道路（館地区）の整備について

館町田中通り線、館町佐藤通り線及び館町高橋通り線の生活道路について資料説明を受け、現地調査を行った。館町田中通り線、館町佐藤通り線については道路敷地が未処理であり分筆や周囲の土地を確定するのに多額の費用を要し、また、館町高橋通り線についても道路敷地が未処理地であるほか、幅が約1.6mと非常に狭く、舗装道路に必要な排水施設等の設置が困難であるということから道路整備ができないという状況であつた。今後は近隣住民の意見等を聞いた上で、問題解決に向け努力すべきだと考える。

4 産地パワーアップ整備事業について

産地パワーアップ整備事業

について資料説明を受け、現地調査を行った。小麦、白大豆は輪作体系の維持や農業政策の変化、労働力不足等により、近年、作付面積が増加しており、既存の調製施設では処理能力を大幅に超過して受入を行い、作業時間を延長して対応している状況であつた。調整施設導入後は処理量が小麦では約5倍、大豆では約2倍と大幅に向上し、作業時間が短縮されたところであ

る。今後は、施設の有効活用、適切な維持管理を行い、収益向上に努めるべきである。

1月23、24日、25日に3地区で開催された議会報告会の内容については、臨時号でお知らせします。

主な議会のうごき

(10月臨時会後から12月定例会まで)

月日	主	要	事	項
10	6	第5回町議会議員協議会（第1会議室）	議員、事務局出席	
		地方創生アドバイザー蒔田純氏講演会（山村開発センター）	議員、事務局長出席	
	11	議会広報編集特別委員会（議員控室）	委員、事務局出席	
	23	議会広報編集特別委員会（議員控室）	委員、事務局出席	
		北海道町村議会議長会決算監査（札幌市～24日）	議長出席	
	25	産業厚生常任委員会第2回所管事務調査（議員控室）	委員、事務局出席	
11	28	札幌厚沢部会懇親会（札幌市～29日）	正副議長、浜塚議員出席	
	2	福島県田村市議会行政視察（議員控室）	議長、事務局出席	
	6	議会広報編集特別委員会（議員控室）	委員、事務局出席	
		町政功労者等表彰式及び祝賀会（町民交流センター）	議員、事務局長出席	
	15	北海道新幹線渡島トンネル〔南鶴〕安全祈願（峠下会場）	議員出席	
	20	地方自治70周年記念大会（東京都）	議長出席	
	21	檜山町村議会議長会先進地行政視察（茨城県）	議長出席	
	22	全国町村議会議長大会（東京都）	議長出席	
12	27	北海道町村議会議長会理事会決算監査報告（札幌市～28日）	議長出席	
	10	厚沢部町立厚沢部中学校閉校記念式典（厚沢部中学校）	議員出席	
	11	議会運営委員会（議員控室）	委員、正副議長、事務局出席	
	13	第4回町議会定例会招集（議場）	議員、事務局出席	

平成29年 厚沢部町議会議員出席状況一覧表

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

委員会			総務文教						産業厚生						議長					
			山崎	孝	浜塚	久好	下川部洋伸	佐々木	宏	中山	俊勝	高田	一弥	松村	松雄	只野	勲	鈴木	祥司	
第1回定例会	3月7日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	3月8日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	3月9日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	3月10日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
第2回定例会	6月15日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
第3回定例会	9月4日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	9月5日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	9月6日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
第4回定例会	12月13日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
臨時会	第1回	5月19日	○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	第2回	8月1日	○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	第3回	10月6日	○		○		○		○		○		○		○		○		○	
各常任委員会活動状況					○		○		○										○	
					○		○		○											○
			○		○		○		○											○
			○		○		○		○											○
			○		○		○		○											○
			○		○		○		○											○
			○								○		○		○		○			
											○		○		○		○		○	
											○		○		○		○		○	
特別委員会	予算審議	3月9日	○		○		○		○		○		○		○		○			
		3月10日	○		○		○		○		○		○		○		○			
	決算審査	9月4日	○			○		○		○		○		○		○		○		
		9月5日	○			○		○		○		○		○		○		○		
		9月6日	○			○		○		○		○		○		○		○		
		9月6日				○									○		○			
	議会 広報編集	1月24日				○									○		○			
		2月7日				○									○		○			
		3月17日				○									○		○			
		4月17日			○	○									○		○			
		4月28日			○	○									○		○			
		5月19日			○	○									○		○			
		7月10日			○	○									○		○			
		7月21日			○	○									○		○			
		8月21日			○	●									○		○			
10月11日				○	○									○		○				
10月23日				○	○									○		○				
11月6日			○	○									○		○					
議会運営委員会		3月3日			○			○		○						○		○		
		5月19日			○			○		○						○		○		
		6月12日	○		○			○		○						○		○		
		8月1日	○		○			○		○						○		○		
		8月31日	○		○			○		○						○		○		
		10月6日	○		○			○		○						○		○		
		12月11日	○		○			○		○						○		○		

○出席 ▲欠席（公用） ●欠席（葬儀、病欠、私用）

まちの議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために次の定例会は3月6日（火）からです。

〔町長・教育長の行政執行方針は6日午前10時から、
一般質問は11時頃からの予定です。〕

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。今年のお正月の天候は穏やかでしたが、1月9日の暴風、12日の暴風、爆弾低気圧による大雪には驚きました。皆さんも雪かきで大変だったろうと思います。今年も異常気象で不安定な気候になるのかと心配です。さて、お正月と言えは皆さん、初詣に行きましたか。私は除夜の鐘を聞きながら町内の神社に参拝に行きました。神社総代の方から、おみくじやお神酒を頂きながらお話をしました。が、年々参拝者や、お供え物も少なくなってきたという感じがしています。一年の計は元旦にありと言います。是非これからお詣りに行きましよう。結びに、皆さんにとって素晴らしい一年になるようご祈念申し上げます。

（ま）

議会広報編集特別委員会
委員長 松村 松雄
副委員長 只野 勲
委員 浜塚 久好
委員 下川部洋伸